

グローバルな気候を理解するために必要な基礎知識を体系的な教科書にすると、これほどの膨大な内容になることを本書は示している。引用文献も多いので、大学院生のよい指針になるばかりでなく、ハンドブッ

クとして使うこともできる。気象関連の研究室の書棚に一冊あれば、大変役立つだろう。末筆ながら、著者の今後の活躍を期待したい。

(放送大学 木村龍治)

国際学術研究集会にかかわる補助金申請の募集のお知らせ

—国際学術交流委員会—

日本気象学会細則第7章「国際学術交流」に基づき、国際学術研究集会出席および招聴にかかわる旅費の補助を下記により行いますので、希望者は期日までに応募願います。

記

対象の集会

2004年12月1日～2005年5月31日の期間に開催される国際学術研究集会

1. 外国で開かれる国際学術研究集会への旅費補助

- 1) 応募資格：日本気象学会会員で国際学術研究集会に出席し、論文の発表もしくは議事の進行に携わる予定の者。ただし、他から渡航旅費に関する援助のある場合を除く。なお、大学等の研究を本務とする機関で定職に就いている者の複数回の助成は原則として認めない。また大学院生の場合は、原則として修士2年程度の研究実績を要するものとする。
- 2) 募集人員：若干名
- 3) 補助金額：開催地域へのPEX運賃による渡航旅費の半額を支給する。
- 4) 応募手続：所定の申請書類を期日までに国際学術交流委員会
(〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁内 日本気象学会気付)に提出する。大学院生は指導教官の推薦状を併せて提出する。
- 5) 応募締め切り日：2004年9月15日
注：申請書は最新の様式のものを用いて日本気象学会事務局から取り寄せるか、気象学会ホームページにあるものを使用すること。申請書の様式は

断りなく変更することがある。古い様式の申請書で応募しても受理しない。e-mailでの申請は受け付けない。

- 6) 補助金受領者の義務：当該集会終了後30日以内に集会出席の概要を「天気」に掲載可能な形式で1ページ(2000字)程度にまとめ、報告書として委員会に提出する。

2. 国内で開かれる国際学術研究集会への旅費補助

- 1) 外国人研究者招聴の旅費補助：外国で開催される国際学術研究集会への気象学会会員の出席旅費補助を目的とした予算の他に「交流事業」として年間20万円(今年度実績)が計上されています。

国際学術交流の趣旨に基づき、使途を「日本気象学会会員が主催者となり国内で開催される国際学術研究集会に出席する外国人研究者招聴の旅費の補助」に限定して、会員からの申請を募集します。

- 2) 応募手続：申請書の形式は特に定めていない。当該研究集会の主催者である日本気象学会会員は、集会の期日、目的、概要、招聴する研究者の国名、氏名、招聴に関わる費用を明記して申請すること。
書類提出先は1の4)に同じ。
- 3) 補助金額：国際学術交流委員会での協議による。
- 5) 応募締め切り日：2004年9月15日
- 6) 補助金受領者の義務：補助金受領者は別に定める様式の報告書を提出すること。